～公民館を核とした持続可能な地域づくり推進事業～
公民館ふるさと教育推進事業　取組事例

テーマ

ふるさと教育で、地域の一体感を醸成

公民館等名	出雲市　出西コミュニティセンター

テーマの背景

出西地区では、近年、人口が増加傾向にあり、数代にわたって居住されている方と、新しく居を構えられた方の数が拮抗しており、新旧住民の融和が大きな課題である。
そのため、出西の歴史を学ぶことを一つの手がかりとして住民の一体感を醸成し、一層の地域活性化を図る必要がある。

実際の取組

取組内容：西野小学校６年生との平和学習

＜取組の概要＞
西野小学校から平和学習の協力依頼があり、10/3 出西地区から７名の方に参加いただき、戦時下の生活の様子を小学生に伝え意見交換し、交流を深めた。
こうしたスタイルの平和学習は西野小学校では初の試みであった。
（133 名参加）

＜成果と課題＞
戦時下の出西の様子については、４月に歴史講座で学んだばかりであったので、非常にタイムリーな学校からの申し出であり、急きょ、ふるさと教育推進事業に組み入れて実施した。
地区からの参加者は、貴重な体験や長年内に秘めていた思いを若い世代に伝える機会が与えられたことを高く評価された。
また、児童も平和の大切さとともに、戦時下のつらい体験を糧として生きてこられたお年寄りたちのたくましい生き方などを学んだ。

実際の取組

公民館ふるさと教育推進事業　取組事例

取組内容：出西歴史講座、歴史探訪など

＜取組の概要＞

地域の歴史を初学者にも分かりやすく伝える歴史講座と歴史探訪を開催した。

１．出西歴史講座（３回）

（１）4/20「74 年前の斐川」
郷土史家・池橋達雄さん（50 名参加）

（２）2/8「出西のお宝探訪」
出雲市文化財課・景山このみさん（76 名参加）

（３）2/26「ふるさと出西～遺跡と神社と地名を中心に」
荒神谷博物館・宍道年弘さん（48 名参加）

出西歴史講座（2/8）

２．歴史探訪（２回）

（１）6/1「健康ウオーク（歴史探訪ウオーク）～出西隋心を巡る～」黒田邦宏さん（79 名参加）

（２）9/2「国登録有形文化財巡り」出雲市文化財課・景山このみさんほか　（57 名参加）

３．出雲神楽上演　12/8 阿宮神能保存会「四方清め」「日御碕」「八戸」（170 名参加）

＜成果と課題＞

初学者向けをうたって周知を図り多くの方に参加いただき、郷土への関心を高めていただいた。

斐川の中で漠然と理解されていた出西の歴史もしっかりしたアウトラインのもとに整理することができたと思う。

まだまだ全体的に関心が高まったとはいえないので、次年度以降これら事業を継続するとともに『出西ふるさと読本』（仮）に着手し、出西の歴史を集大成し、ふるさと教育を強めていきたい。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

ふるさと教育においては、子どもたちは地域で暮らす人たちの体験談を聞き、意見交換することが極めて効果的であることが分かった。

また、多くの人に郷土への関心を持ってもらうためには、専門的ではなくて、分かりやすい解説が重要であることが分かった。※2/8 歴史講座では、３保育園職員合同研修を兼ねて開催

今後の展望

地域の一体感を醸成していくためには、まずは地域の歴史や文化を知ることが大切であることが実感された。一般の方に広く学んでいただくために、引き続き初学者向けの歴史講座や、健康ウォークとの抱き合わせなどで、粘り強く住民の皆さんに働きかけていく必要がある。来年度には、こうした講座の詳細記録を冊子に取りまとめて、地域の知的ストックとし、広く住民の皆さんに頒布する。

小学生との交流事業も大きな成果を上げたので、学校に対して継続開催を働きかけていきたい。

（文責：センター長　高橋孝治）